

2022年度

活動方針策定にあたり

中央執行委員長
宮本 昌樹

2022年度は、昨年と同様の「Today's Best」の活動スローガンのもと、今以上に組合員が『ヤナセで働くことが幸せ』と感じられる状態を目指して活動いたします。2020年末に実施した組合員意識調査の調査結果から、組合員の「働きがい」が会社や職場への満足度に大きな影響を与えるということが明らかになりました。そこで、次頁でご案内する具体的な「活動の軸」は組合員意識調査の結果を基に、「働きがい」に焦点を当てて策定しました。

さて、毎年、定期中央大会議案書の“P2”には、その時々の中や会社の状況が反映された組合員が抱える課題に基づく活動方針に込められた想いが綴られています。本議案書の作成にあたり、改めて過去の議案書の“P2”を読み返していたところ、10年前の議案書が目に残りました。そこには、次のような言葉がありました。『誰もが先行きを明確に語れない今に打ち勝たなければなりません。そして、何が起きても動じない将来をつくりあげなければなりません。』いかがでしょうか？今、約2年間コロナ禍に翻弄されてきた私たちが抱く想いと完全に一致するのでしょうか。10年前といえば、リーマンショック及び東日本大震災の被害から立ち直ろうとしている時期です。次に20年前の議案書が気になりページをめくりました。そこには『会社再建諸施策へのサポート』という文字がありました。ご存知の通り、当時のヤナセの経営状態は今からは想像もつかないほど苦しい状態でした。となると今から30年前が気になります。手元に議案書はありませんでしたが、30年前といえば日本経済はバブル崩壊で壊滅的なダメージを受けていました。また、ヤナセにおいては、フォルクスワーゲンとアウディの輸入販売を中止した時期です。

今、世間では先行きが不透明で将来の予測が困難な状態を指して“VUCA時代”と言われていますが、果たして先行きが予想できた時代などあったのでしょうか？歴史を振り返りながら考えると、先行きがわからず不安なのが普通の状態なのではないでしょうか？今、私たちがヤナセで働けるのは、先輩方がその時々苦勞や先行き不安と戦いながら、今の自分たちにできることを精一杯やり、会社を支え続けてきた結果です。であるならば、私たち組合員がやることは一つ、『未来を恐れず今日に集中すること』です。今日、自分にできることに集中して職場の仲間と協力し合って、お客さまに喜んでいただける仕事をするのが私たちの働きがいの向上に繋がると確信します。そこで、2022年度は組合員同士の対話を通じた組合活動を強化します。誰しもヤナセで働く者として大切にしている信念や将来のありたい姿、また、絶対に変えてはいけないと思っている大切な想いなどを心の奥底に持っていると思います。そういった組合員一人ひとりの価値観を職場内外の仲間との対話によって共有し合える時間を通じて、組合員が主体的に自分たちのありたい姿を体現しようと行動する活力溢れる風土をつくりたいと思っています。

誰にだって楽しい時もあれば、辛い時もあり、毎日本当に色んなことが起こります。でも、そんな日常を受け入れて、自分たちがありたい姿に向かって「今日」に集中し、仲間と協力し合える環境を組合員全員でつくりたいです。きっとその先に今以上に組合員が『ヤナセで働くことが幸せ』と感じられる状態があると信じて、1年間よろしくお願い申し上げます。

～組合員が『ヤナセで働くことが幸せ』と 感じられる状態をつくりたい～

2022年度の組合活動は、私たちが『ヤナセで働くことが幸せ』と感じられる状態をつくるための土台づくりに専念します。

私たちが毎日働く中で『幸せ』を感じる要素は様々ありますが、日々の仕事に働きがいを感じられるということは凄く重要な要素ではないでしょうか。

では、私たちはどのようなときに働きがいを感じるのでしょうか？

2020年12月に行った組合員意識調査の結果から、私たちが働きがいを感じるには、次の3つの実感が大切だということがわかりました。

- ❶ お客さまや上司から良い評価を得られたという実感
- ❷ 自分が成長できているという実感
- ❸ 信頼できる仲間と協力し合いながら働いているという実感

私たちが『ヤナセで働くことが幸せ』と感じられる状態をつくるために、前述した3つの実感を高めるための組合活動を展開します。



仲間と話し合う機会をつくります

- ヤナセで働く私が大切にしている信念とは？
- ヤナセで働きながら私はどのような人になりたい？
- これまでヤナセを支えてきてくれた先輩方が大切にしてくれた想いとは？
- もっとこうすればヤナセは良くなるのでは？
- 時代の変化に合わせて変えていかなくてはならないものとは？
- 時代が変化しても絶対に変えてはいけないものとは？



もっともっと仲間と話し合い、対話を通じて仲間と価値観を共有し合う活動を推進します。
「ヤナセらしさ」というキーワードをよく耳にしますが、果たして「ヤナセらしさ」とは何なのでしょう？
仲間の想いに触れ、自分の想いを仲間に伝える対話の中で、私たち組合員が大切にしたい「ヤナセらしさ」について皆で考えましょう。
そして、仲間との対話の中で導き出された組合員の想いを会社に伝え、ヤナセのこれからについて労使で議論を深めることで、労使共創でより強固な「ヤナセらしさ」をつくりましょう。

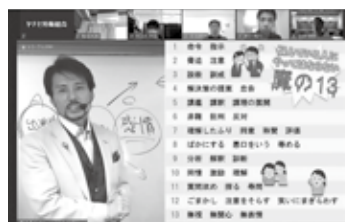
組合員の新たな気づきをサポートします

- 会社の情報や経営の考え
- 会社の各種制度の理解
- 仕事で役立つスキル
- より良い人間関係の築き方
- 安定したメンタルの身につけ方
- 健康なカラダづくり
- 時事ニュースの捉え方
- お金に関する知識
- 異業種交流



仕事に直結する学びから、仕事から一步離れた学びまで、組合員の皆さまが新たな気づきを得られる機会をつくります。

変化が激しく様々な情報が飛び交う状況は、漠然とした不安を感じやすい状況だといえます。だからこそ、学びにより新たな気づきを得て、少しずつ自分が成長し前に進んでいる実感を得られることが、不安の解消に繋がります。ヤナセ労働組合の組合員だからこそ得られる気づきの機会を積極的にご活用ください。



組合員のメンタルヘルスをサポートします

- 最近朝起きると何となく憂鬱な気分になるんだけど…
- 仕事で大きな失敗をしてしまった…
- 先輩、上司とうまくコミュニケーションが取れない…
- プライベートで人間関係のトラブルが発生してしまって…
- 何となく将来が不安だ…



組合員の心が弱っているときのサポート機能を充実させます。

気持ちが落ち込むことや、不安に襲われることなど“辛い時期”は誰にでもあります。一方で、“辛い時期”を乗り越えたときに私たちは成長を実感します。無料でプロのカウンセリングが受けられる仕組みや、気軽に組合に相談できる仕組みの他、仲間に寄り添う意識と知識を組合役員で共有することで、“辛い時期”を乗り越え成長しようとする仲間を応援します。

組合員が安心して働ける労働条件と職場環境の維持改善に努めます



この先もずっとヤナセで働きたいと思える労働条件と、信頼し合える仲間と協力しながら前向きに働ける職場づくりは、組合活動の土台と位置づけて活動します。

組合の各会議体では、組合員の皆さまの声を基に組合員の現在と将来の両方をしっかりと見据えて議論をします。その上で、労働条件と職場環境の維持改善に向けた会社への提言と協議を行います。